

520x240ドット

SII C195011C1

グラフィック液晶

コントローラ：なし(ドライバのみ)

CCFLバックライト搭載(青地に白表示)

☆主な仕様

◎表示ドット数：520x240ドット

◎コントローラIC：なし(ドライバのみ)

※ダイナミック駆動で表示させます

※液晶駆動波形の交流化信号は液晶内部で自動生成されます

◎電源電圧：

DC3.3～5V(ロジック系)/DC -17V(液晶用)

◎バックライト：CCFL(青地に白表示)

! 注意

◎駆動信号が止まった状態で、電源を入れたまま放置しないでください。液晶が劣化します。

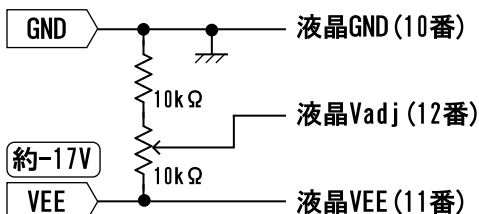
◎動作中はバックライトインバータやバックライト周辺に手を触れないでください。感電のおそれがあります。

☆ピン配置

	信号名	概要
1	D3	表示データビット3(MSB)
2	D2	表示データビット2
3	FLM	0ライン目「H」/それ以外「L」
4	NC	(開放で使用)
5	/LP	立下りで1ライン分データラッチ
6	/CP	立下りでデータ取り込み
7	D1	表示データビット1
8	D0	表示データビット0(LSB)
9	VCC	電源(+3.3～+5V)
10	GND	グラウンド
11	VEE	液晶駆動用電源(約-17V)
12	Vadj	表示コントラスト調整
13	/DISPOFF	「L」レベルで表示OFF
14	NC	(開放で使用)

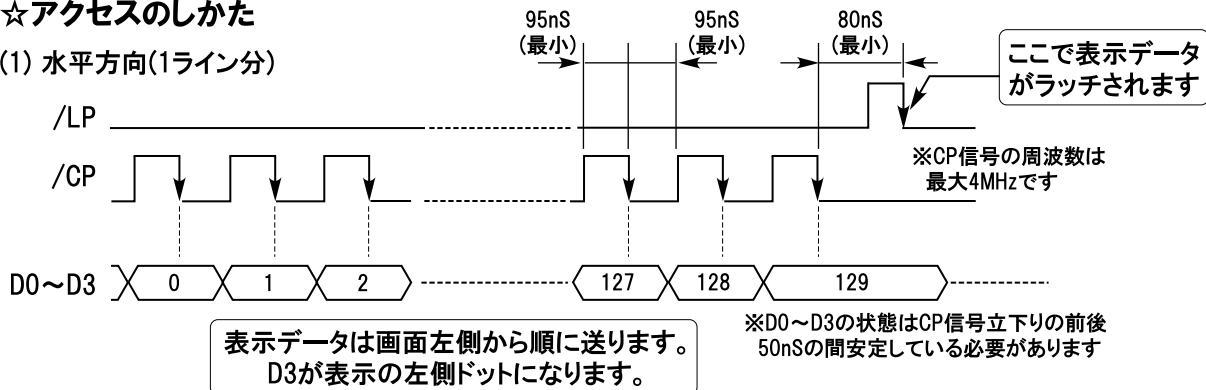
接続用コネクタはフィルムケーブル(1mmピッチ/14ピン)が付属します

◎Vadjの接続について



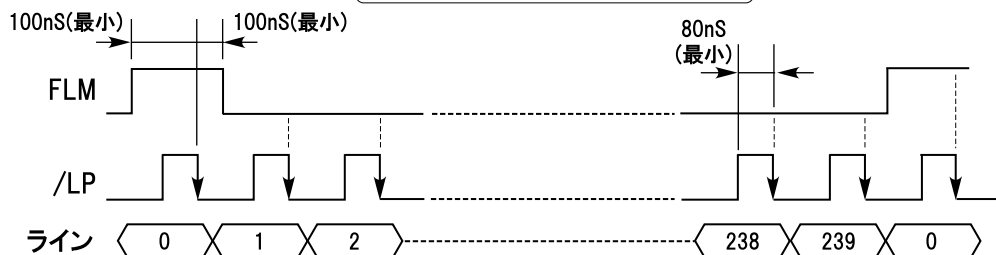
☆アクセスのしかた

(1) 水平方向(1ライン分)



(2) 垂直方向(1フレーム分)

0ライン目(一番上のライン)のときのみFLM信号を「H」にします



※ FLM信号の繰り返し周波数(垂直同期の周波数)は大体50Hzから60Hzくらいが適当です。
(遅すぎると表示がちらつきます)